

嶺北地域本部 地域産業クラスターの進捗状況等

農業⑥ 嶺北畜産クラスターによる地域の活性化(嶺北地域)

【H29の主な取組】 ※プラン策定 (H29.2)

- 1次：(株)れいほく未来の土佐あかうし飼養頭数の増 (H28:176頭→H29:241頭)
土佐あかうし堆肥舎完成 (7月)
- 2次：食鳥処理・加工施設完成(8月)、県版HACCP(第3ステージ)認証の取得(12月)
- 3次：大川村PT産業振興部会(6月)及び販売に関する協議(5月)、
さめうら荘建て替え工事着手(10月)、カヌーのまち嶺北推進協議会設立(5月)

【H30年度上半期の取組状況と課題】

土佐あかうし、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の増頭・増羽、食鳥処理・加工施設の円滑な運営及び販売促進、カヌー利用に係る環境整備

▼取組状況

- 1～3次：大川村PT産業振興部会(5月、8月)
- 1次：土佐あかうし、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の増頭・増羽
- 2次：食鳥処理・加工施設の本格稼働(4月)
- 3次：さめうら湖協議会(6月)、全中カヌー大会での合宿誘致営業(7月)

▼課題

- ・さらなる増頭対策と堆肥の活用
- ・円滑な食鳥処理体制の早期構築及びブランドの再構築(首都圏等における営業活動の強化)による販売促進
- ・カヌーに係る施設整備及び環境整備

【H30年度の今後の取組予定】

- 1次：さらなる増頭・増羽、堆肥の活用方法検討
- 2次：食鳥処理体制の早期構築支援の実施
- 3次：土佐はちきん地鶏の販売体制強化(流通アドバイザー等の導入)、
さめうら荘周辺整備基本計画の策定、さめうら荘プレオープン(12月)

林業② 嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化(嶺北地域)

【H29の主な取組】

- 1次：森林組合ほか素材生産事業者(10事業者)との協議・支援、
西峯スギコンテナ苗の出荷(12,500本)
- 2次：ストックヤード造成工事の継続
- 3次：商談会・フェアへの出展
集落活動センターいしはらの里における林業研修の実施(10月、12月、2月)
- 1～3次：嶺北広域原木安定供給協議会開催(2回)

【H30年度上半期の取組状況と課題】

原木の安定供給、嶺北材及び木工製品の販売促進、スギコンテナ苗育成

▼取組状況

- 1～3次：嶺北広域原木安定供給協議会開催(5月)
- 1次：森林組合ほか素材生産事業者(10事業者)との協議・支援、西峯育苗ハウス増棟(5月)及びスギコンテナ苗移植(5月)
- 2次：ストックヤード造成工事の継続
- 3次：ばうむ合同会社木工製品の販促EXPO(東京)出展(7月)及びかがわ家博出展(8月)

▼課題

- ・原木の安定供給
- ・スギ苗の継続的な販売先の確保と栽培技術の向上
- ・嶺北材及び木工製品の販路拡大

【H30年度の今後の取組予定】

- 1～3次：嶺北広域原木安定供給協議会による素材流通等のICT化に伴う作業部会の運営、
西峯スギコンテナ苗栽培管理勉強会(9月)
- 2次：ストックヤード造成工事の継続
- 3次：れいほくスケルトンの四国内(香川県中心)における販売活動(ウッティフェスティバル/10月)

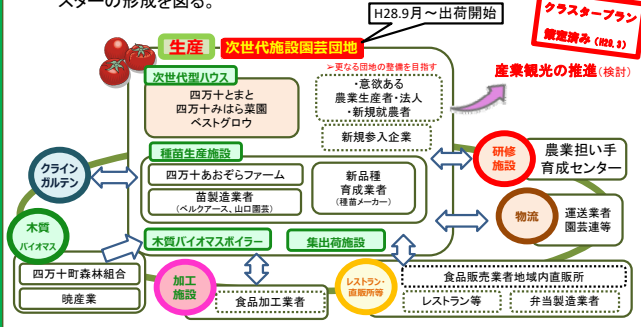
(注) 図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

地域産業クラスターの形成 (展開図) ①

【農業】

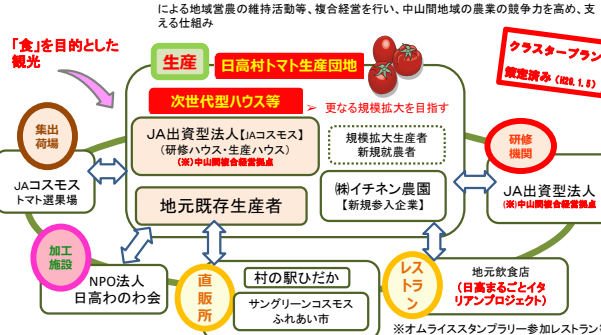
① 四万十次世代モデルプロジェクト(四万十町)

・次世代施設園芸団地でのトマト生産を核として、バイオマス供給施設、種苗供給施設、農産品加工・販売業者、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



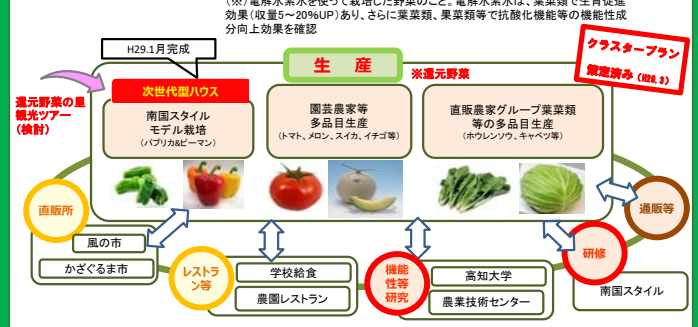
② 日高村トマト産地拡大プロジェクト(日高村)

・日高トマト生産団地の拡大の取り組みを核として、中山間複合経営拠点(※)の整備も併せ、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。



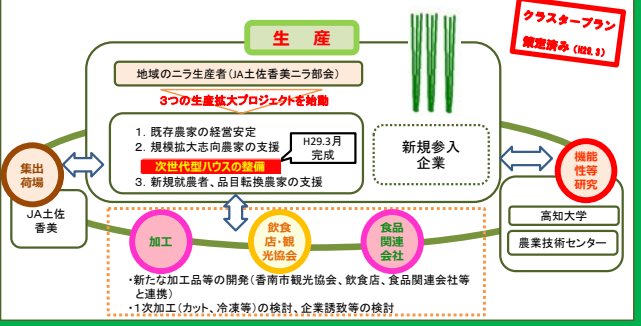
③ 南国市還元野菜プロジェクト(南国市)

・JA出資型法人「南国スタイル」を中心として、「還元野菜(※)」の生産拡大を図るとともに、関連する直販所や農園レストラン等と連携した還元野菜販売や、メニュー提案等を実施することにより、還元野菜の里づくりを目指す。



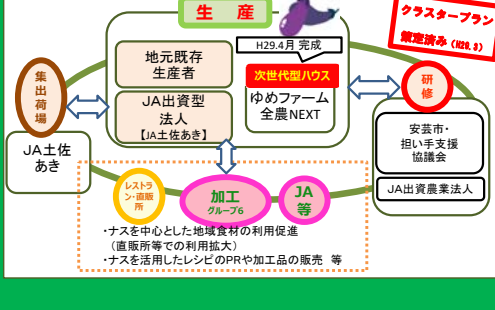
④ 日本一のニラ産地拡大プロジェクト(香南市・香美市)

・日本一の生産量を誇るJA土佐香美の生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクトに取り組むとともに、食品関連会社等の誘致を視野に入れた新たな加工品の開発、地元飲食店でのメニュー開発等により、クラスターの形成を図る。



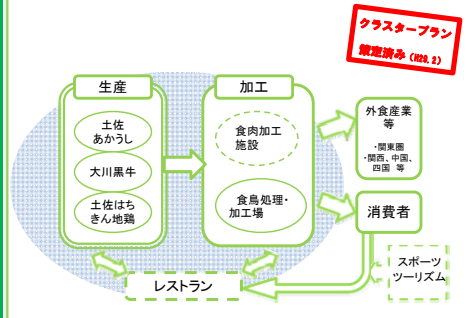
⑤ 日本一のナス産地拡大プロジェクト(安芸市)

・県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を図るとともに、地域の直販所や飲食店等での利用促進、ナス料理や加工・特産品の消費拡大に取り組むことにより、クラスターの形成を図る。



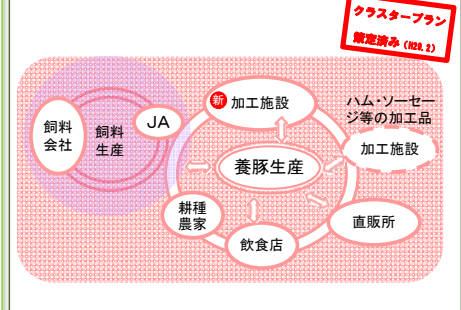
⑥ 横北畜産クラスターによる地域の活性化(横北地域全域)

・「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さくら湖や山岳岳頂を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業の展開も検討する。



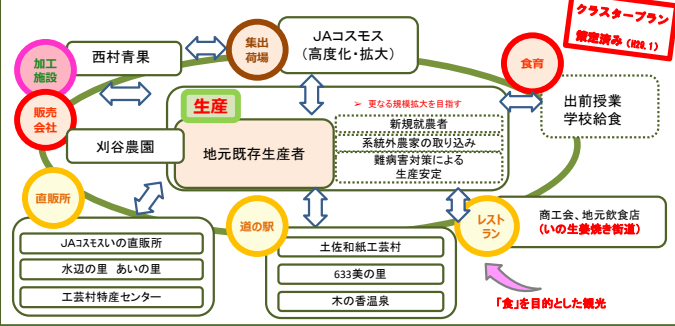
⑦ 四万十ポークブランド推進プロジェクト(四万十町)

・養豚農家の生産基盤の強化を図るとともに、関係機関が連携し安心安全な四万十ポークを消費者に安定供給できる体制を構築し、新たな6次産業化ビジネスの展開とあわせて地域の所得向上につなげる。



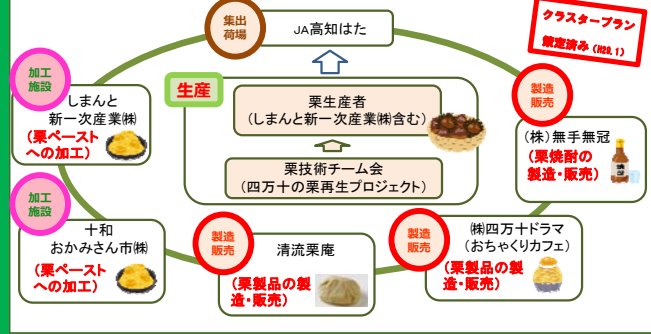
⑧ いの町生養生産・販売拡大プロジェクト(いの町)

・いの町の生養生産農家を中心として、生巻の集出荷場整備と併せ、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



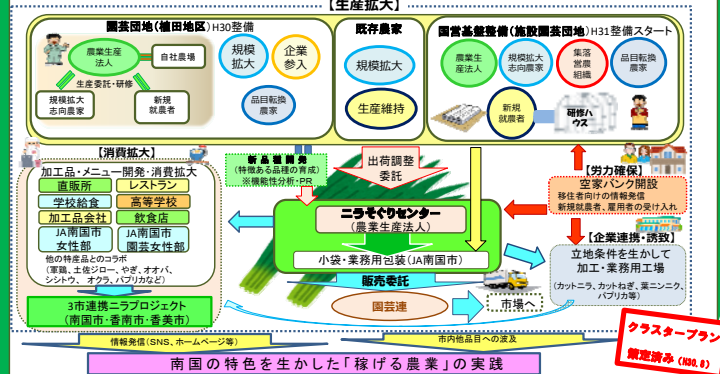
農業⑨ 四万十の栗プロジェクト(四万十町)

・四万十の栗再生プロジェクト協議会を中心として栗の生産拡大を図るとともに、ペースト加工施設、カフェ、栗焼酎販売会社等が連携し、クラスターの形成を図る。



農業⑩ 日本一のニラ産地拡大プロジェクト(南国市)

・農業生産法人が運営するそぐりセンターを活用し、地元農家や企業参加による生産拡大を図るとともに、直販所、レストラン、商工会等が連携し、クラスターの形成を図る。



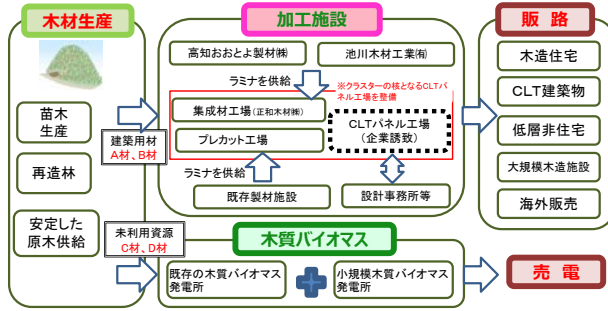
(注) 図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます。

地域産業クラスターの形成 (展開図) ②

【林業】

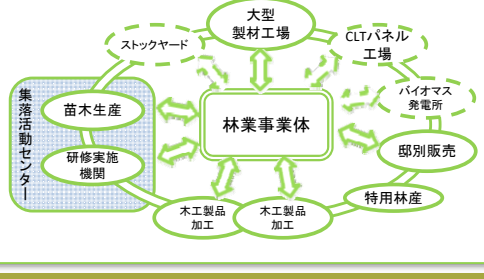
① 林業・木材産業クラスタープロジェクト(県下一円)

・木材加工を核として、木材生産から販売・再生産までの好循環を生み出す。



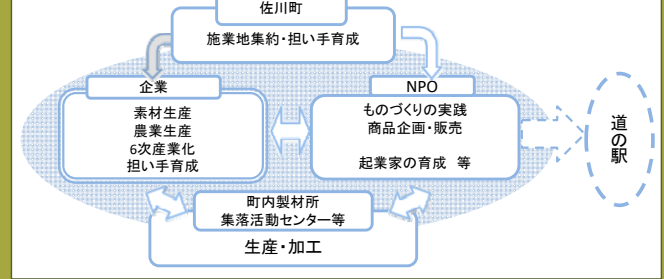
② 嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化(嶺北地域全域)

・嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。



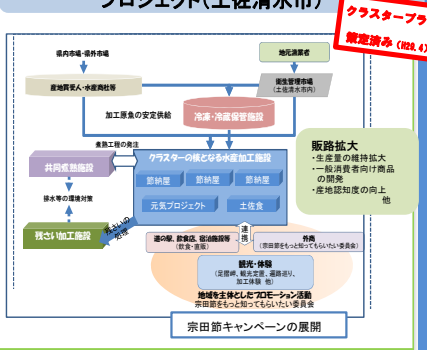
③ 佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター(佐川町)

・自伐型林業の取り組みを中心に、担い手の育成確保を含めた自伐型林業のビジネスモデルづくりのほか、町産材等を使ったモノづくりの人材育成や拠点整備、道の駅等の整備により町内の6次産業化を進める。

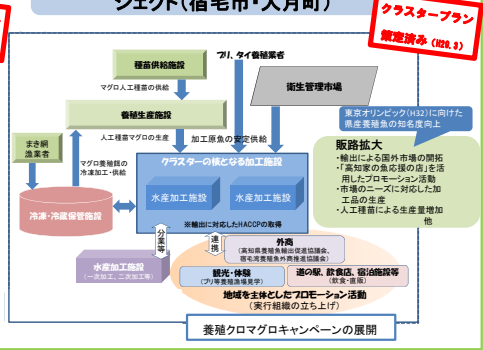


【水産】

① 土佐清水水産加工産業クラスタープロジェクト(土佐清水市)

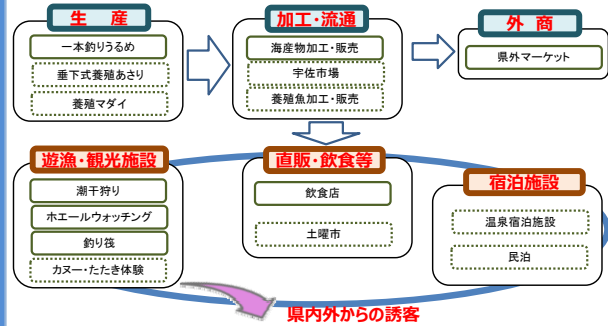


② 宿毛・大月養殖ビジネス高度化プロジェクト(宿毛市・大月町)



③ 宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト(土佐市・須崎市)

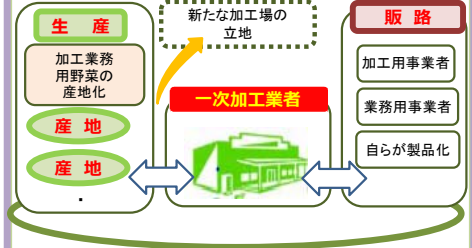
・うめいわし、あさり、ブランド真鯛の水産資源を活用した加工業や、ホエールウォッチング、釣り筏などの遊漁、周辺の宿泊施設等が連携してクラスターの形成を図る。



【食品加工】

① 加工・業務用野菜の産地化プロジェクト(県下一円)

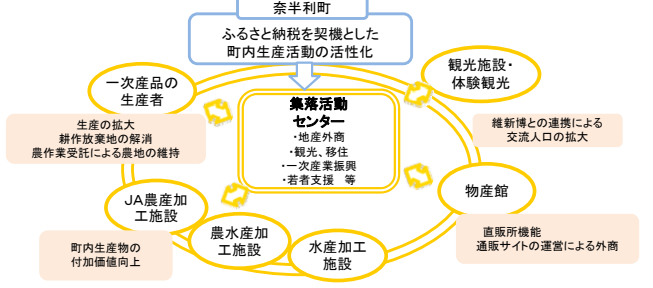
・需要が増加傾向にある「加工・業務用野菜」の産地化を進め、マーケットイン型の商品開発や「生産・加工・流通・販売」までの新たな仕組みの構築に取り組む。



【その他】

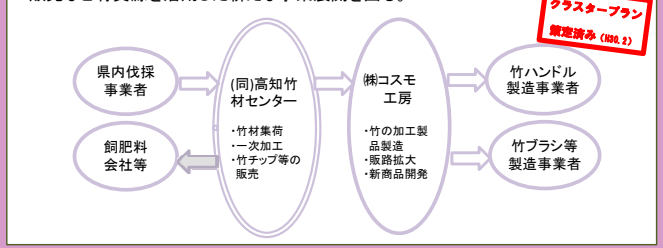
奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター(奈半利町)

・集落活動センターを拠点として、奈半利ブランドの確立と地域の所得向上につなげる。



竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出(高知市)

・県産竹材を活用した製品加工の拡大とともに、竹材の集荷や一次加工、竹チップの販売など竹資源を活用した新たな事業展開を図る。



株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター(仁淀川町)

・新工場整備によって生産能力を向上させ、県外量販店や大手惣菜製造工場との取引拡大を図る。あわせて、流域食材のブランド化による観光振興、加工・業務用野菜の産地形成を推進する。

